

地学探究(文系)	単位数	2 単位	実施予定授業数	70時間
----------	-----	------	---------	------

## 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	2年の「地学基礎」では、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養ってきた。「地学探求」では、さらに目的意識をもった観察、実験などの探求活動や問題演習等を通し、地学的な知識や探究心、理解力を育てていく。
使用教科書・副教材等	教科書「地学基礎 改訂版」啓林館 資料集「スクエア最新図説地学」第一学習社 問題集「リードLightノート」数研出版、「ベストフィット」実教出版 「ビーライン」第一学習社、「Navi&トレーニング」「センサー地学基礎」啓林館

## 2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲	時数
第1学期	「地学基礎」の復習と発展 第1部 固体地球とその変動 第2部 移り変わる地球 第3部 大気と海洋 第4部 宇宙の構成 第5部 自然との共生	4 5 6	「地学基礎」の基本事項について、探求活動を通して総復習を行い、地学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。	各考查間の学習範囲を指示する。	20
	[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート・問題集				
	[第1学期の評価方法] 考查の結果と出席状況等により総合的に判断し、10段階評定とする。				
第2学期	総合演習①	7 8 9	問題演習を行い、地学の基本的な概念や原理・法則の定着を計る。	各考查間の学習範囲を指示する。	30
	総合演習②	10 11	問題演習を行い、地学の基本的な概念や原理・法則の定着を計る。		
	[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート・問題集				
[第2学期の評価方法] 考查の結果と出席状況等により総合的に判断し、10段階評定とする。					
第3学期	特別編成授業	12 1 2	問題演習を中心に、地学的な考え方の応用力を養う。	各考查間の学習範囲を指示する。	20
	[課題・提出物等] 授業の中で指示する。				
	[第3学期の評価方法] 1・2学期と同様とする。				
[年間の学習状況の評価方法] 各学期の評定を総括し、年間の5段階評定とする。					
確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本事項の定着を徹底すること。</li> <li>常に「なぜ？」を頭において勉強に取り組むことにより「考える力」をつけよう。</li> <li>疑問点はあやふやなままにせず、質問したり、何度も教科書を読もう。</li> <li>模試や演習問題等の解き直しを欠かさずに行おう。復習は必ず行おう。</li> </ul>				
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に集中し、授業時間を最大限に活用しよう。</li> <li>地学は、地震、火山、気象、宇宙など人々の関心の深い自然現象を学習する科目なので、日々のニュースや天気予報から多くの情報を得よう。</li> </ul>				